



郡山市立谷田川小学校 学校だより

宇津峰

令和 7年度 第 6号
令和 7年5月 9日
文責 校長 山下嘉寿夫

全校学習旅行「みんなで遊ぼう集会」～全校生で楽しできました～

今年度の全校学習旅行は、郡山自然の家に行ってきました。欠席もなく、まさに全校学習旅行になったのは嬉しい限りです。天候が心配されましたが、午前中は予定通り班ごとのスコアオリエンテーリングを行えました。班長・副班長が協力し、そして、常に下学年に優しく声を掛けながら険しい山道をみんなで乗り越えていく姿に、「谷田川小学校って、本当にいい学校だなあ」という思いが強くなりました。



子ども同士のかかわりを大切に ～縦割り班清掃が始まりました～

以前、この「宇津峰」で縦割り班についてお知らせしましたが、本校においては縦割り班活動が教育の基盤であり、強みだと考えています。そして、5月1日から縦割り班での清掃が始まりました。清掃の様子を見ても上学年が、下学年に優しく掃除の仕方を教えながら進めたり、重いものを一緒に運んだり優しく、頼もしい存在です。また、下の学年の子ども達は素直に上学年の話を聞き入れ、教わったように実践します。時として、教職員が教えるよりも子ども同士の関わりに任せた方が効果的な場合があります。昔に比べ、子ども同士で理解し合う場面や子ども同士の文化を育む時間が減少してきている中、このような活動を大切にしながら教育活動を進めていきたいと考えています。



人権ってなんだろう ～5、6年生で人権教室を実施しました～

現代社会において、いじめ、児童虐待、児童生徒の性被害など、子どもが被害者となる事案が後を絶ちません。子どもは一人の人間として最大限に尊重され、守られなければなりません。その為には我々大人がそのことを深く理解すると同時に、子ども自身がその権利を理解し、困難を抱えた時に自ら声を上げられるようになることが大切です。人権教室は、子どもたち自身が様々な権利の享有主体であることを認識し、周囲の人を思いやる心を育みながら生命の尊さを理解するめに実施するものです。実際の人権教室では、人権擁護委員の齋藤鈴子さん、折笠千賀子さんが用意してくださった紙芝居「白い魚とサメの子」を教材に、分かり易く説明していただきました。終始、子ども達は真剣に話を聞き・考え、自分事として捉えられたようでした。



心を豊かにする「読み聞かせ」～今年度も1、2年生で読み聞かせを行います～

絵本の読み聞かせは、低学年を対象に年6回計画され、その第1回目を先日実施していただきました。昨年も書いた内容ですが、読み聞かせが読解力や表現力を伸ばすのに効果的であることは、様々な研究結果から明らかになっています。「絵を見る」「文字を見る」「読んでいる声を聞く」ということが同時に行われる絵本の読み聞かせは、子どもの脳を刺激して、多くの知識を積み上げる効果があると言われています。具体的には「使える言葉が増える」「想像力を育む」「集中力が高まる」「子どもの気持ちが安定する」「コミュニケーション能力が向上する」などです。また、絵本の中の登場人物に気持ちを重ねることで感情が揺さぶられたり、言葉の情報から情景を想像して聞いたり、子どもの心を豊かにしてくれるものだと思います。読み聞かせがあった日、ご家庭で「どんな絵本だった」そんな声掛けをお願いします。



ヤワな大人にならない「生きかたルールブック」 ～ その五 ～

《生き方ルール 11》

「清く正しく美しい自分を求めすぎない」

「清く正しく美しい」ことは素晴らしい。でも、それを求めすぎて自分を息苦しくさせてしまっはいけないよ。

《生き方ルール 12》

「たくさんの人と付き合いながら自分らしくいる」

自分は自分、という思いを大事にしよう。周りの人全員から好かれようなんて思うと、自分らしさが消えてしまうんだ。

【ちょっと一息 コーヒーブレイク】 ～子どもとの話題作りに～

前回に続いて旬の食材についてのお話です。5月が旬の野菜と言えば、アスパラガスでしょうか。会津産の太くて柔らかいアスパラガスはとてもおいしいですね。実はこのアスパラガス、花と赤い実を楽しむ観賞用として日本に入ってきたようです。この名前はギリシャ語の新芽を意味する「アスパラゴス」に由来するそうです。それではここで問題です。アスパラガスには和名もあり、「オランダ○○カクシ」と言い、○○の中には鳥の名前が入ります。その鳥とはいったいどんな鳥でしょうか。

① ハト ② サギ ③ キジ

前回の答えは ① 安心ですメロン でした。